



2024年11月5日
パリ・ノートルダム大聖堂展 製作委員会

特別展 **パリ・ノートルダム大聖堂展** タブレットを手に巡る時空の旅

— NOTRE-DAME DE PARIS THE AUGMENTED EXHIBITION —

世界遺産を築いてきた技、受け継ぐ未来 世界巡回展、日本初上陸

会期：2024年11月6日（水） - 2025年2月24日（月・休）

会場：日本科学未来館（東京都江東区青海2-3-6）

パリ・ノートルダム大聖堂展製作委員会（株式会社ブレイン、Histoverly）と日本科学未来館は、2024年11月6日（水）から、日本科学未来館にて特別展「パリ・ノートルダム大聖堂展 タブレットを手に巡る時空の旅」を開催します。

パリのシテ島に今からおよそ800年前に建築され、ゴシック建築の代表作ともいわれる世界遺産・ノートルダム大聖堂。2019年4月15日の火災によって大きな被害を受けましたが、多くの人から愛されるパリのシンボルであることやその歴史的価値から、すぐさま復興プロジェクトが開始。再開に向け各界の専門家が集結し、ドローンやCG分析などの最新技術や、建築や美術品を扱う熟練工の磨き抜かれた技によって懸命な修復が進められています。

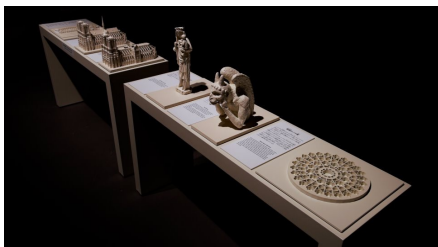
そんな中、文化財保護の大切さを伝えることを目的に世界各国を回ってきた本展が、世界中が待ちわびた2024年12月の大聖堂一般公開の再開を迎える特別なタイミングに合わせ、ついに日本で開幕。本展では、最新技術によって大聖堂が再び光を取り戻していく様子を専用タブレット端末「HistoPad(ヒストパッド)」で辿り、タイムポータル（時空の扉）を通してさまざまな時代の大聖堂を覗くことができます。その歴史に想いを馳せることで、文化財を守る意義をより一層身近に感じていただけるでしょう。

東京展オリジナルコンテンツ

修復にあたり、当初の姿や構造を守りながら、ノートルダム大聖堂を未来に残し続けるために、当時の技術と現代技術の融合が不可欠でした。

日本科学未来館での開催では、修復に使われた最新技術に焦点を当てた、東京展初公開のタイムポータル（時空の扉）が登場します。

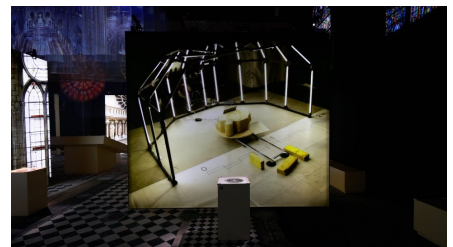
また、来場者が触れることができる模型を展示したコーナーも追加。火災前後の大聖堂を比較した模型や聖母子像の彫刻のレプリカなどを、点字も交え紹介することで、視覚に障害のある方も楽しめる内容となっています。



さわれる展示：全体の様子



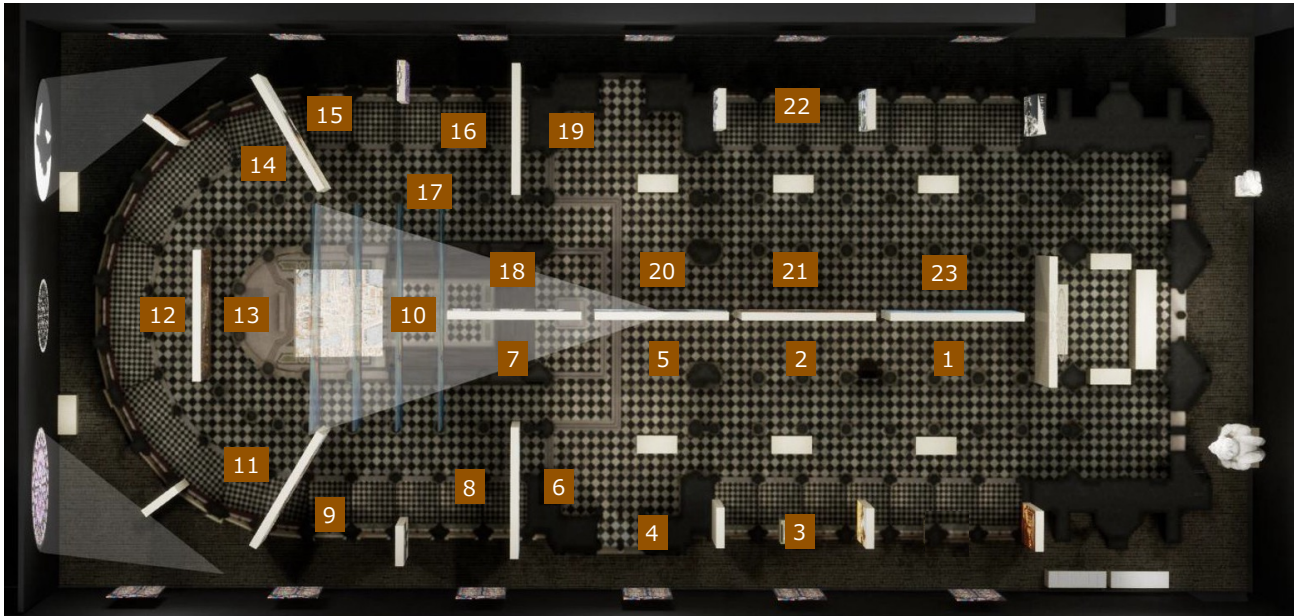
さわれる展示：聖母子像・ストリゲス



東京展初公開のタイムポータル（時空の扉）

タイムポータル（時空の扉）を通して ノートルダム大聖堂の歴史を探検

会場内には過去へとつながる21個のタイムポータル（時空の扉）があります。HistoPadをかざすと、ディスプレイに当時の様子が再現されます。1160年の創建時から、2019年の火災後の復興過程まで、専用端末HistoPadを通して、あなたを時空を巡る旅へ誘います。



▲タイムポータル（時空の扉）配置図

タイムポータル（時空の扉）

- | | | |
|--------------------|------------------|---------------------|
| 1. 火災—2019年4月15日— | 8. 西側のバラ窓 | ※15. セルフィー |
| 2. 夢の大建築 | 9. 聖遺物 | 16. 天才建築家の仕事 |
| 3. 鍛冶職人 | 10. パリの中心部 | 17. 尖塔 |
| 4. 石工職人 | 11. 宗教戦争の政略結婚 | 18. 安全確保作業 |
| 5. 世紀の建設—1165年頃— | 12. 王の誓願 | 19. 修復現場におけるイノベーション |
| 6. 「森」 | 13. フランス革命 | 20. 修復—2021～2024年— |
| 7. 内陣—大聖堂の最も神聖な場所— | 14. 皇帝の戴冠—1804年— | 21. 修復現場を訪れてみましょう |
| | | 22. 工事現場の専門家たち |
| | | ※23.Thanks |
- ※15. 23.のタイムポータルは時空を巡る旅をしません。

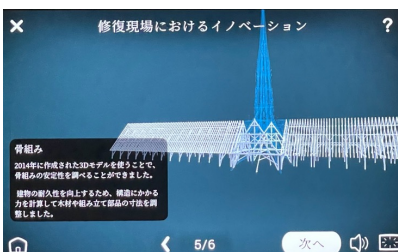
タイムポータルの一例



ナポレオンの戴冠式の様子（HistoPad画面）

14. 皇帝の戴冠—1804年—

フランス革命によるダメージを隠しながら行われたナポレオンの戴冠式。新皇帝の野心や複雑に絡み合う当時の政情などを細かく表現しています。まるで大聖堂内にいるような、360度を見回せる視点を採用したことにより、平面の絵画では描ききれなかった忠実な再現が可能に。



屋根の骨組みの説明（HistoPad画面）

19. 修復現場におけるイノベーション

科学の視点から大聖堂修復にフォーカスした東京展初公開のタイムポータル（時空の扉）。最適な方法での修復を行うために、最新シミュレーションや専用開発されたロボットなどあらゆる最新技術を駆使した様子を動画や図解で解説します。火災で焼失した尖塔や「森」の愛称で知られる木造構造の屋根など、ノートルダムを代表する特徴的な建築要素の修復・強化を可能にした技術を説明。

展示会場の様子



料金（税込）

チケット販売

チケットは、会場またはチケットサイト
アソビュー!、イープラス、チケットぴあにて発売。

種別	当日（個人）
大人（19歳以上）	1,800円
18歳以下（中学生以上）	800円
小学生	500円
60歳以上	1,600円

開催概要

未就学児【6歳以下】 無料

- タイトル** 特別展「パリ・ノートルダム大聖堂展 タブレットを手に巡る時空の旅」
- 会期** 2024年11月6日（水）～ 2025年2月24日（月・休）[93日間]
- 会場** 日本科学未来館 企画展示ゾーンa
- 主催** 日本科学未来館、パリ・ノートルダム大聖堂展 製作委員会
- 共催** 日本経済新聞社
- 特別協賛** 日本ロレアル
- 協賛** DNP大日本印刷、富士通
- 後援** 文部科学省、外務省、在日フランス大使館/アンスティチュフランセ、東京臨海高速鉄道、ゆりかもめ
- 協力** 在日フランス商工会議所、日仏会館・フランス国立日本研究所、資生堂、東急電鉄、東京港埠頭、東北新社、豊田通商、日本航空、はとバス、堀場製作所、三修社、Établissement public chargé de la conservation et de la restauration de la cathédrale Notre-Dame de Paris
- 企画・制作** Histoverly、ブレイン
- 公式サイト** <https://notredame-ar.jp/>

お問い合わせ パリ・ノートルダム大聖堂展 製作委員会
株式会社ブレイン：坂爪（さかづめ） E-mail：contact_nd@notredame-ar.jp
メディアキットダウンロード：<https://bit.ly/notredame-ar>